

日 時	令和8年3月3日（火）14時～15時30分
場 所	中央公民館2階 会議室
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
欠席委員	今井静子委員、葛岡正浩委員、鶴澤保之委員、塚田みえ子委員
配付資料	別添のとおり

## <議事要旨>

### 【1 開会】

### 【2 議題】

#### (1) 令和7年度男女共同参画計画の進捗状況について

「資料1 第2次大網白里市男女共同参画計画の実施結果の概要について」説明

- ① 目標値の達成状況は 78.0%
- ② 女性の登用状況
- ③ 男女共同参画に関する主な啓発事業
- ④ DV（ドメスティック・バイオレンス）・虐待被害等に対する支援

会 長 何か質問、意見はあるか。

委員 A 未達成となった事業番号9番「各幼稚園と小・中学校での家庭教育学級の開催」について、令和7年5月からこの家庭教育学級に携わっているため、実情を説明させてもらいたい。

家庭教育学級は新型コロナウイルスによる影響が顕著に出ている事業で、隔年で実施している合同研修会を例にとると、コロナ禍以前は178人の参加があったところ、令和3年は42人、令和5年は52人、令和7年は37人となっており、非常に参加者が集まりにくい状況となっている。PTAとしての参加状況を見ても、全12校（10校・2園）のうち、半分の6校が合同研修会に参加した一方、不参加のうち2校はそもそもPTA活動を行わないというような状況であるため、令和7年度は直接全保護者へ家庭教育学級の合同研修会について周知する形式をとった。結果としては、参加者37人と、コロナ禍以前と比較して大幅に少ない状況となった。

また、合同研修会を含む各校での家庭教育学級実施状況について、資料2-2では令和7年度の結果を平均1回としているが、正確には平均1.9回である。各校での実施状況について細かく見れば、1校は年4回実施、2校は年3回、5校は年2回、3校は年1回、1校が0回と、目標には満たなかったもののほぼ全ての学校・園で実施されている。

ただ、先ほどの話のとおり参加者も集まりにくいこのような現状で、家庭教育学級を年平均4回というのは中々難しい状況になってしまっており、今後、PTAによらず募集をかけるなどやり方を考える必要がある。一方で、そもそも家庭教育学級は保護者同士の交流の場としての役割も担ってきたことから、進め方を検討しながら取り組んでいきたいと考えている。

会 長 話を聞く限り、事業番号 9 番については延べ回数だと相当数実施はしているように思うので、資料 2-2 にはその部分をもう少し書き加えた方が良いのでは。指標に対しての結果としては平均年 1 回で未達成ということではあるが、このままではほとんど何もしていないように受け止められかねない。内訳を書くなど、難しい状況の中でも頑張っており取り組んでいることが分かるような内容を書き加えてほしい。

事務局 意見のとおり修正する。

委員 A 家庭教育学級について付け加えると、男性の参加者が令和 3 年は 0 人、令和 5 年は 52 人中の 7 人で約 13%、令和 7 年は 37 人中の 7 人で約 19%と、これまで女性の参加者ばかりであったところに男性参加者が増えてきており、少しずつ男女共同参画が進んできているように感じられる。

会 長 これまで女性ばかりであったところに男性の参加が増えてきているというのも、指標に無くとも一つの成果であり大事な部分であるため、先ほどの内訳等と併せて、その点についても書き加えるようにしてもらいたい。

会 長 資料 2-2 については、事業番号 32 番の病児保育と 34 番の学童保育について、もう少し補足事項の記載内容を修正した方が良いように思う。

まず、事業番号 32 番の病児保育のところは、ただ未達成という結果だけではなく、資料 2-1 に記載があるように、これまで 1 か所で実施していたものが令和 6 年度に新たに 1 か所開始され、現在は合計で 2 か所となっているということを指標の補足事項の方にも追記してほしい。また、令和 6 年度に新たに病児保育が開始されたことについて、補助金を出したことによるものなのか。そうであれば増加に向けて補助金を増やす検討を行うかどうか、その辺りの分析をもう少し書き加えてほしい。

事業番号 34 番の学童保育についても同様で、1 か所閉鎖して減少したのはそうだが、その理由についての分析を補足事項に書き加えてほしい。

事業番号 49 番の乳がん検診についても、ここに記載される数値はあくまで地方自治体の行う検診の受診のみであり、例えば、実態はこの場では分からないが、働く人の増加に伴い人間ドックを受ける人が増えた結果として市での検診の受診率が上がらないだとか、そういった分析を加えられないか。

がん検診について、受診者数の推移を見るに、乳がん検診は 2,000 人超、子宮がん検診は 1,000 人前後とほぼ横ばいである状況から、これが受診者の飽和状態である可能性もあるし、人口や対象者の増減、対象者の年齢別比率などによってもこの結果の意味合いが変わってくるかと思う。仮に全体の受診率があまり高なくても、例えば受診者のうち、乳がんや子宮がんの頻発年代がボリュームとなっていればそれはそれで成果が出ているとも考えられる。検査をしたくない人へ無理やり検査してもらうのはそれはそれで問題があるため、検査をしたいという人にアプローチできているかという視点を持って評価するのも一つだと思う。

いずれにしても、指標を達成できなかった部分については、指標としては未達成という結果の中でも、どこまでは実施、達成が出来ているだとか、こういう理由で未達成となっているため今後このように検討したいだとか、頑張っている部分を記載すべきである。

資料 2-2 の事業番号 15 番、管理職の女性割合についても、家庭生活との両立がネックというのにも確かにあるのかもしれないが、もう少し今後に向けた内容を書けると良い。例えば、女性の退職が多い結果から現状の数値になっているということではなく、単純に現在の管理職世代に女性職員が少ないというのであれば、今後職員採用時の女性比を増やしていくだとか、管理職世代と現在の採用時の女性比率を比較したときにすでに改善しているのであればそういった内容を分析して記載した方が良いと思う。

事業番号 12 番の審査会等の女性委員割合については、資料の記載内容は良いかと思う。今後、いかに女性委員を増やしていくかということになるが、例えば、予防接種健康被害調査委員会の千葉大医師など、どういった方が就いているのか確認し、女性医師の登用など、アプローチしてみるのも良いのでは。

事業番号 30 番の男性の育児休業の取得率は、0%であったところが直近では 60～80%と、明らかに大きく改善している。前期の計画目標は 10%とかなり低く設定されていたが、これについては、前回の指標設定時はそれだけ取得がされていなかったということでもあり、この 5 年間でここまで上昇するというのは大きな成果だと思う。先ほどの家庭教育学級の実施結果の中で、男性参加者割合が増加しているという話もあったが、計画期間で達成した事業の中でも特筆すべき事項は総括としてどこかに記載したほうがよいと思う。例えば、男性の育児休業以外でも、配偶者出産休暇（男性の育児参加休暇）の取得率が 100%というのも素晴らしいし、乳幼児健診未受診者の状況把握についても令和 7 年度でついに 3 歳児健診が 100%を達成できている。また、固定的役割分担意識の結果、これまで女性のみが携わるものとなってしまっていた家庭教育学級やマタニティ教室に男性参加者が増えてきているというのも成果としてどこかに記載した方がよい。

委員 A 女性消防団員もこの計画期間で顕著に増加している。また、指標には出ないが、資料 2-1 の事業番号 39 番、区・自治会等の地域への男女共同参画の意識啓発に関する部分で、男女共同参画だよりのアンケートへの感想が少しずつ増加しているのも、地域における男女共同参画の意識の高まりを感じられる良い点だと思う。

会長 今ご意見をいただいた部分も含め、意識の変化が行動や結果に表れているところがあると思う。先ほど事務局の説明の中で、計画期間初年度（令和 3 年度）に指標の達成率 58.5%であったところが、最終年度（令和 7 年度）では 78.0%に上昇したというのも含め、計画期間全体の成果としてまとめ、どこかに記載してほしい。

## (2) その他

会長 何か質問、意見はあるか。

委員 B 本審議会においては女性委員の割合が高くなっているが、男女共同参画を推進する会としては、男性からの視点、意見も大事なものとなるかと思うので、次期委員を検討する際にはその点も一つ検討いただくと良いのでは。

会長 確かに重要な点である。ただ、最終的な理想像は全審議会等において男女比が半々くらいになることであるものの、男性の多い審議会ばかりの現状では、全体のバランスから、本審議会の女性が多くなっているのも致し方ない部分かと考える。

いずれにしても大事な視点を持ったご意見であるので、事務局も含め本審議会の中で共通の検討課題として記憶しておいてほしい。

委員 B 前回の審議会で教育委員会管理課の話題が出たため参考までに共有させてもらおうと、仮に法務局に人権侵犯事件の報告をする必要が生じた場合には、他自治体に倣い、本市でも「教育委員会」という名称で行うことになるものと思われる。

会長 人口減少が続く中、自治体間での競争が激しくなっている点を踏まえると、今のご意見のように外部からどのように見られるかという視点も重要となるので、今後の施策や取り組みにおいても参考としてほしい。

最後に、今回の実施結果は後日公表資料となるが、本審議会での意見等を踏まえ、事務局と調整の上、一部内容の修正を行った上で公表することとしたい。

会長 他になにかあるか。

事務局 前回までに審議いただいた第3次大網白里市男女共同参画計画については現在最終調整中であり、本日の審議会結果と併せて後日報告する。

### 【3 閉会】